

発達障害者のコミュニケーション・スキル の特性評価に関する研究（その2）

～F&T感情識別検査拡大版に基づく特性評価・支援の検討～

NIVR

武澤 友広（障害者職業総合センター 研究員）

発達障害とは

障害者の雇用の促進等に関する法律施行規則での定義（職場適応援助者助成金の条項）

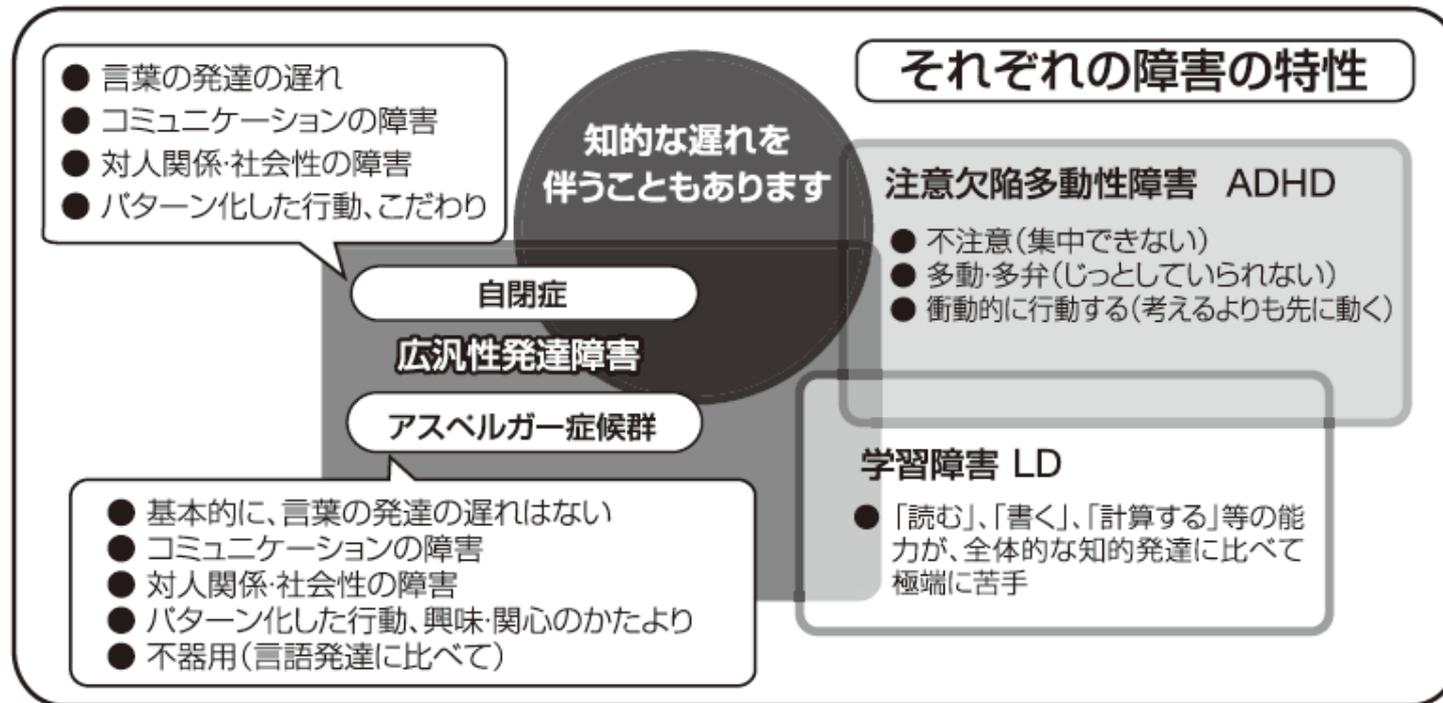
発達障害者支援法に規定する発達障害者

発達障害者支援法での定義

「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する**脳機能の障害**であって、その症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

「発達障害者」とは、発達障害がある者であって発達障害及び**社会的障壁**により日常生活又は社会生活に**制限を受けるもの**

発達障害とは



出典：「発達障害の理解のために」（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 作成）より抜粋

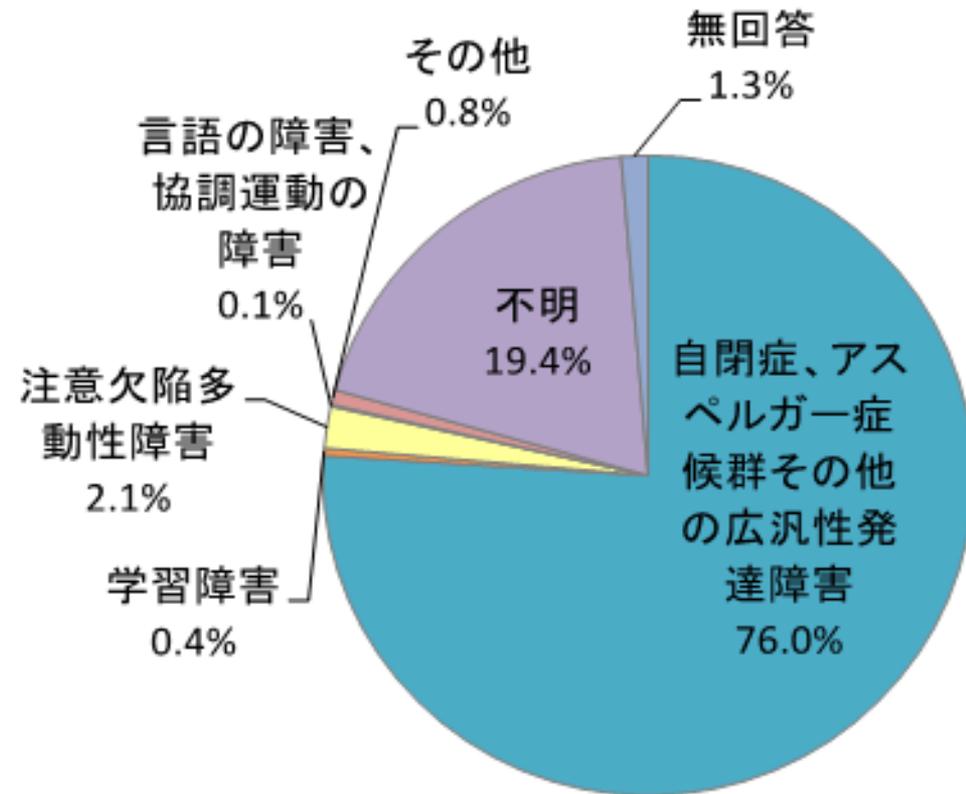


発達障害者の雇用状況

厚生労働省「平成30年度障害者雇用実態調査結果」

(主要産業の民営事業主が平成30年6月1日現在の雇用状況を報告)

<発達障害者の雇用者数>
推計 3万9千人



引用：平成30年度障害者雇用実態調査結果

<<https://www.mhlw.go.jp/content/11601000/000521376.pdf>>

自閉スペクトラム障害とは

社会性の障害

- 人への反応や関心が乏しすぎたり、大きすぎたりして、対人関係がうまく結べない。
- 指示されているルールは守れるが、職場の暗黙のルールに混乱する。
- 注意されると、相手が自分を敵視しているように感じてしまう。

自閉スペクトラム障害とは

コミュニケーションの障害

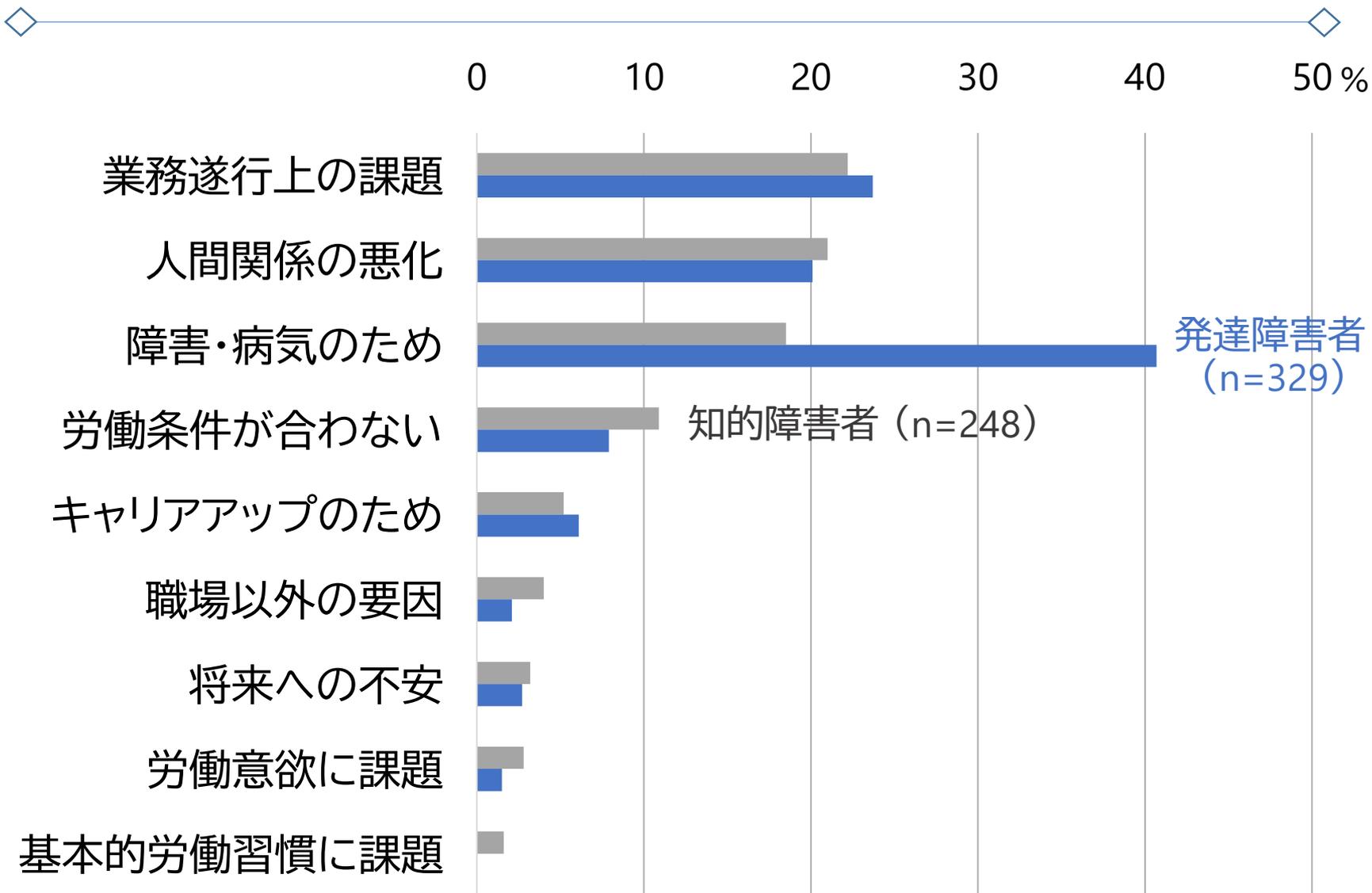
- 言葉や表情・ジェスチャーなどをうまく使えない。
- 他者にメッセージを伝えたり、
他者からのメッセージを読み取ることが苦手。
- 上司や同僚に対する接し方がうまくできない
(誰にどう接してよいのか分からない)。
- 指示が分からないときに、タイミング良く質問
することが苦手。

自閉スペクトラム障害とは

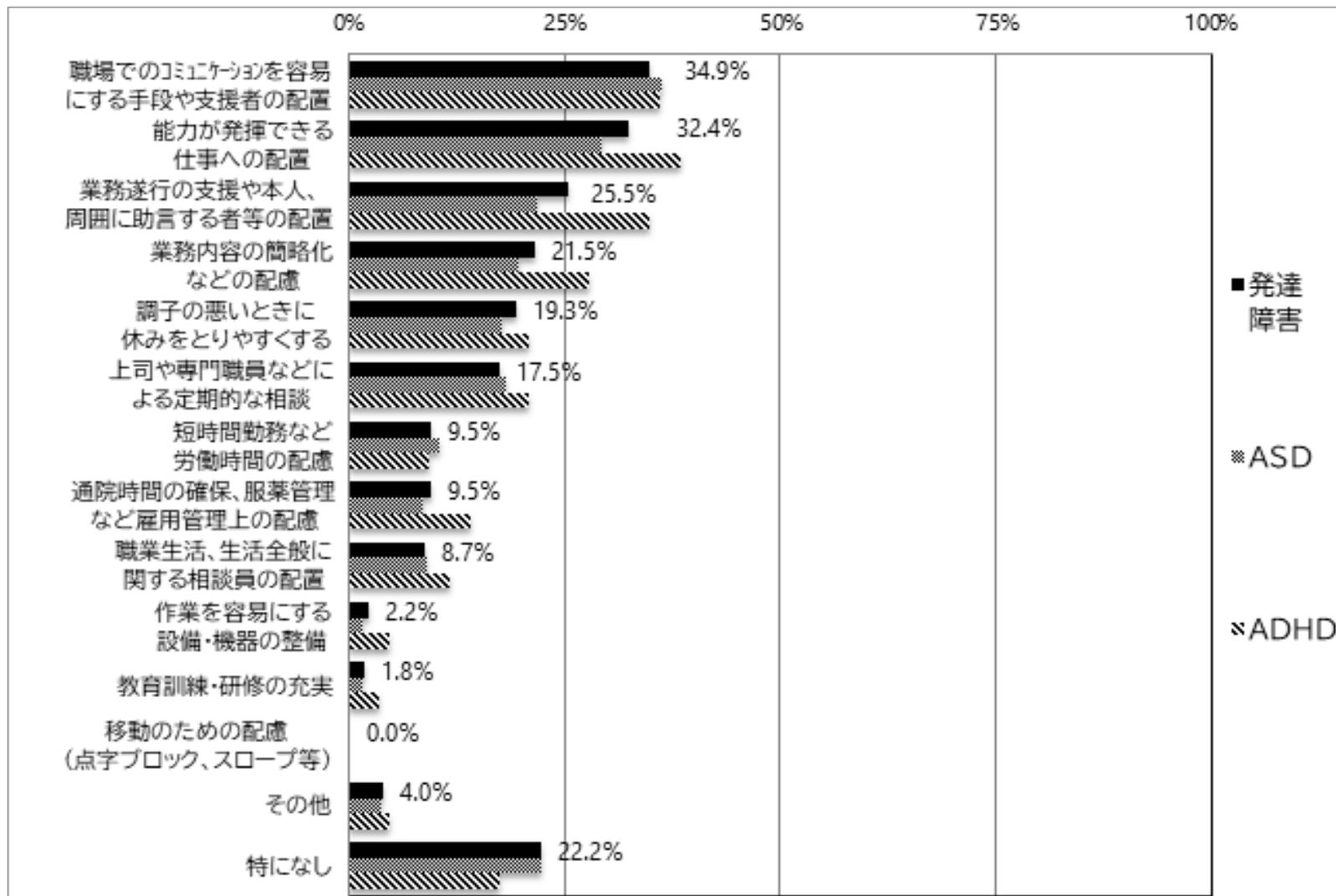
こだわりが強く、興味や行動が極めて限られている

- 活動や興味の範囲が著しく制限されている。
- 立場を変える、場を理解するなどがうまくできない。
- 変化を怖れる。
- 複数のことを担当すると、どれを優先するのか、分からなくなる。
- 時間や場所など予定が変更になると不安になる。

求職者（2018/6/1-30）の前職の離職理由



離職を防止できたと考えられる措置・配慮



自閉スペクトラム障害のある人の コミュニケーションに関する困難さ

質問してよい？

場と相手の状況の読み取り

接近と声をかけるタイミング

聞く内容を整理して発信

同時処理が必要

質問の定型文を頭に用意しても、
聞けないことが積み重なると
そこにスペックを取られて
脳の余裕がなくなっている
ところに次の仕事が出て…



感情認知の発達

◇

- 生後5～7か月:

6つの基本的感情(喜び、悲しみ、怒り、恐怖、嫌悪、驚き)を識別できるように

- 10歳まで:

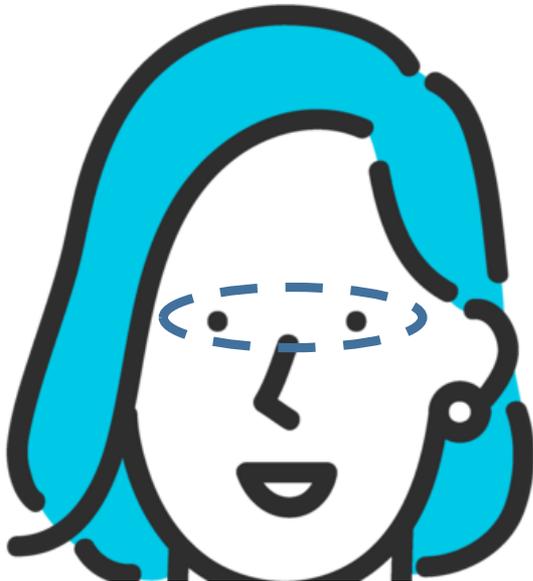
無表情、驚き、喜び、嫌悪の表情のマッチングにおいて成人と同程度のパフォーマンス

- 思春期以降:

複雑な感情(嫉妬や罪悪感など)の識別に関する継続的な改善

自閉スペクトラム障害のある人の表情認知

自閉スペクトラム障害のある成人は定型発達の成人よりも目に注目していないことを示す研究結果が多い。児童を対象とした研究ではそのような結果は少ない。



社会的に意味のある情報として目が認識されていないのでは？

動きが大きい口に注意を奪われやすいのでは？

対人不安や否定的評価を恐れるあまり、目を見ないようにしているのでは？

発達障害と社会的動機づけ

社会的動機づけ仮説

自閉スペクトラム障害のある人たちと
多数派の人たちの行動様式の違いの原因を
社会的動機づけの違いに求める考え方

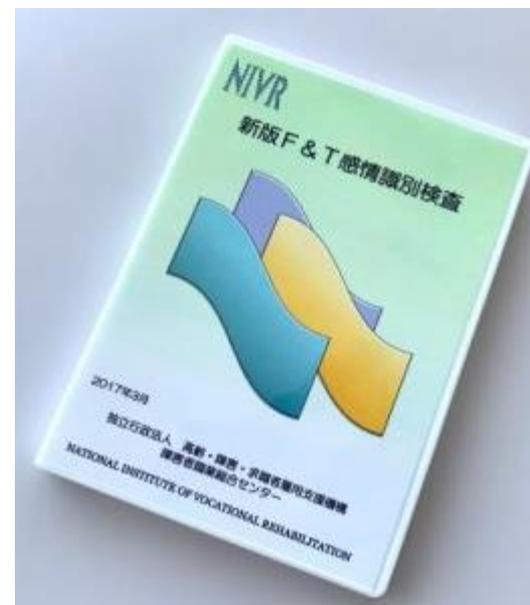
- ☑ 指示が合理的だと納得するから
- ☑ 指示に従うと自分の勤務評価が上昇するから
- ☑ 指示に従わないと注意処分を受けるから



- ☑ 指示に従うと
上司に気に入られるから
- ☑ 指示に従わないと
上司の機嫌を損ねるから
- ☑ 皆が指示に従っているから

新版F&T感情識別検査

コミュニケーションに課題が確認された対象者について表情(Face)や音声(Tone)からの感情の読み取りに関する特徴(受信の特徴)を分析し、支援方法を検討するためのツール。障害者職業総合センターが2017年に公開。



新版F&T感情識別検査

構成

	検査刺激の特徴	評価対象
4感情版	明確な感情表現	他者感情の識別能力
快-不快版	曖昧な感情表現	他者感情への構え

旧版からの変更点

- ☑ 快-不快版を追加
- ☑ 4感情版の利便性を向上

4感情版

内容

「喜び」「悲しみ」「怒り」「嫌悪」のいずれかを表現した表情や音声を呈示し、

「どの感情を表現しているか？」について回答を求める検査

所要時間(目安)

約30～40分

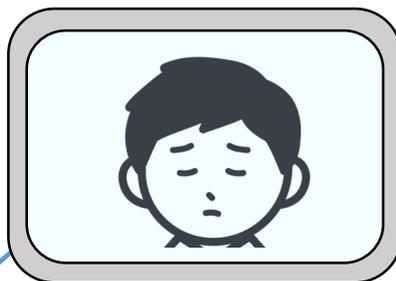
4感情版

刺激の呈示条件

音声のみ条件

おはようございます

表情のみ条件



音声 + 表情条件

おはようございます



演劇等で意図的な感情表出の訓練を積んだ20代の男・女各1名、
40代の男・女各1名の計4名

この他、「こんにちは」「はさみをとってください」等、感情的な意味を含まないセリフ

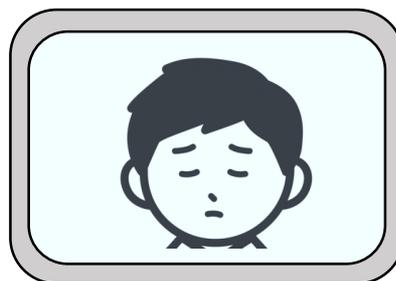
4感情版

刺激呈示から回答の流れ

① 注意喚起(5秒)



② 刺激呈示(2~3秒)



③ 回答(6秒)



検査に入る前にマウス操作ができるかどうかを確認する。

マウス操作ができない場合や集団で一斉実施する場合は筆記式で回答する。

4感情版の結果の示し方

音声		Aさんの回答			
		うれしい	かなしい	おこっている	いやだなあ
呈示された感情	うれしい	6	0	0	2
	かなしい	0	5	0	3
	おこっている	2	1	5	0
	いやだなあ	3	2	0	3
	合計	11	8	5	8

○ 快-不快の混同

△ 不快感情間の混同

「音声のみ」	「表情のみ」	「音声+表情」
59%	66%	84%

条件別の正答率の傾向から

コミュニケーションタイプを判定

コミュニケーションタイプ

音声依存Tタイプ

基本的な感情であっても、表情のちがいから、相手がどのような気持ち（感情）でいるのかを知ることは得意ではありません。

声の変化に集中する方が、相手の気持ちをよりよくわかる可能性が高いといえます。

そのため、「相手の感情を知ろう」と思ったときには、「声をよく聞く」ことが大切です。

音声や表情からの感情識別の特徴やコミュニケーションタイプから感情を正確に読み取ることができる条件を明らかにし、コミュニケーションに関する対策・支援・配慮を検討する。

発達障害者 124名 男性:98名 女性:26名

- 知的障害を伴わない発達障害（うち 84 % は 自閉スペクトラム障害）の医師の診断・専門家による判断を有する
- 18歳～61歳（平均 \pm SD: 25.5 \pm 10.2 歳）
- 広域/地域障害者職業センター、障害者職業総合センター職業センター、外部の協力機関からの紹介で、研究協力への同意が得られた者
- 調査時期: 2013年4月～2016年9月

本研究では、自閉症、アスペルガー症候群、その他特定不能の広汎性発達障害とされる自閉症圏の障害の一群を「自閉スペクトラム障害」とした。

定型発達者 128名 男性:58名 女性:70名

- 大学生・大学院生
- 〈F&T4感情版〉の開発に関する研究(調査研究報告書No.39, 2000)で取得したデータ
- 調査時期: 平成 1999年5月～6月

結果の解釈： 正しく感情を読みとれているか？

正答率

おはようございます



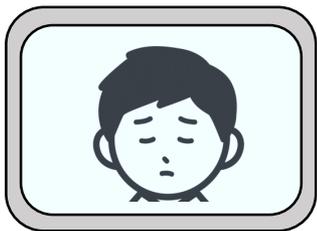
音声のみ

定型発達者

85.9 %

発達障害者

77.2 %



表情のみ

定型発達者

84.5 %

発達障害者

67.1 %

おはようございます



音声 + 表情

定型発達者

94.7 %

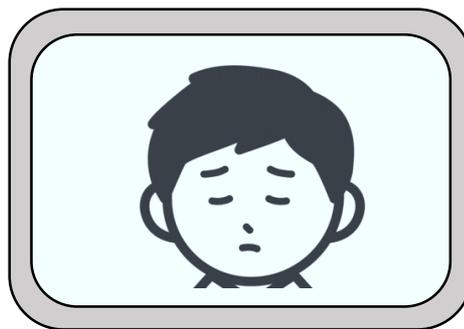
発達障害者

86.9 %

音声や表情からの感情の読みとりが難しい発達障害者について、その特性を詳細に検討する必要がある。

結果の解釈： 快－不快の混同はないか？

喜んでいる



- ☑ 「喜び」の感情表現から「怒り」「嫌悪」を読みとっていないか？
- ☑ 「怒り」「嫌悪」の感情表現から「喜び」を読みとっていないか？

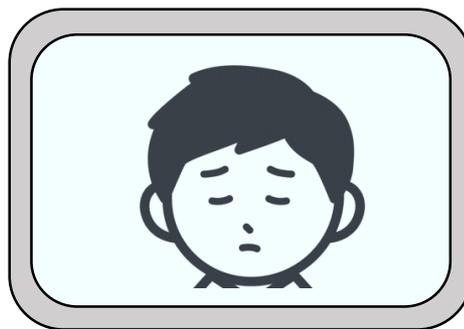
結果の解釈： 快-不快の混同はないか？

		快 → 不快	不快 → 快
音声のみ	定型発達者	0.9 %	1.4 %
	発達障害者	7.6 %	4.8 %
表情のみ	定型発達者	0 %	0.1 %
	発達障害者	1.6 %	0.4 %
音声 + 表情	定型発達者	0.7 %	0.4 %
	発達障害者	2.0 %	0.4 %

快-不快の混同は対人トラブルの原因になりうるため、
どの条件で読み誤りが起きやすいかを確認する。

結果の解釈： 不快感情間の混同はないか？

嫌がっている



- ☑ 「悲しみ」の感情表現から「怒り」「嫌悪」を読みとっていないか？
- ☑ 「怒り」「嫌悪」の感情表現から「悲しみ」を読みとっていないか？

結果の解釈： 不快感情間の混同はないか？



		悲しみ → 嫌悪	悲しみ → 怒り
音声のみ	定型発達者	0.7 %	0.8 %
	発達障害者	15.9 %	0.8 %
表情のみ	定型発達者	12.3 %	5.5 %
	発達障害者	32.0 %	19.4 %
音声 + 表情	定型発達者	3.3 %	1.1 %
	発達障害者	15.6 %	0.6 %

「他者感情をより不快に読みとっている可能性」を確認する

➡ <快-不快版>の実施により詳細な検討が可能

怒りと嫌悪の混同

「怒り」と「嫌悪」の混同があったとしても、「まず謝る。それから、何が悪かったか聞いてみる」といった行動をとれば社会適応につながる。

他者の不快感情の理解はその後の行動に適切に反映させることで適応につながることから、他者感情を把握した後の対応に関する考え方や行動を本人に確認することも重要である。



結果の解釈：感情を読みやすい情報の様式は？

	音声のみ	表情のみ	音声+表情	人数： 発達障害者 124名中
高受信	高	高	高	25
低受信	低	低	低	1
相補	低	低	高	28
相殺	高	高	低	1
音声依存T	高	低	高	21
音声依存F	低	高	低	1
表情依存T	高	低	低	0
表情依存F	低	高	高	3
特定のタイプに分類されない				44

※ 正答率の**高低**は大学生 124 名の平均正答率に基づき判定

快-不快版

内容

曖昧に感情が表現された表情や音声を提示し、「どのくらい快-不快な感情を表現しているか？」について回答(-4 :非常に不快 ~ $+4$:非常に快までの9段階評価)を求める検査

所要時間(目安)

約20分

快-不快版

刺激の呈示条件

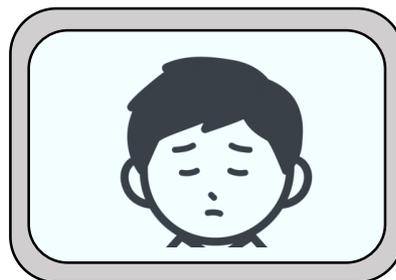
4感情版と同じ

刺激呈示から回答の流れ

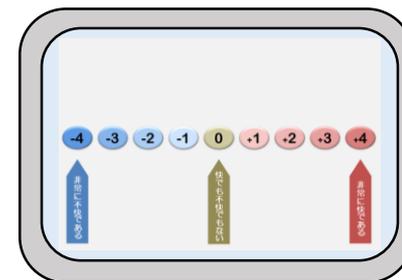
① 注意喚起(5秒)



② 刺激呈示(2~3秒)



③ 回答(5秒)



快-不快版の回答画面

回答の画面では「非常に快である (+4)」から「非常に不快である (-4)」までの数字が、ボタンで以下のように表示されます。



戻る

次へ

快-不快版の体験

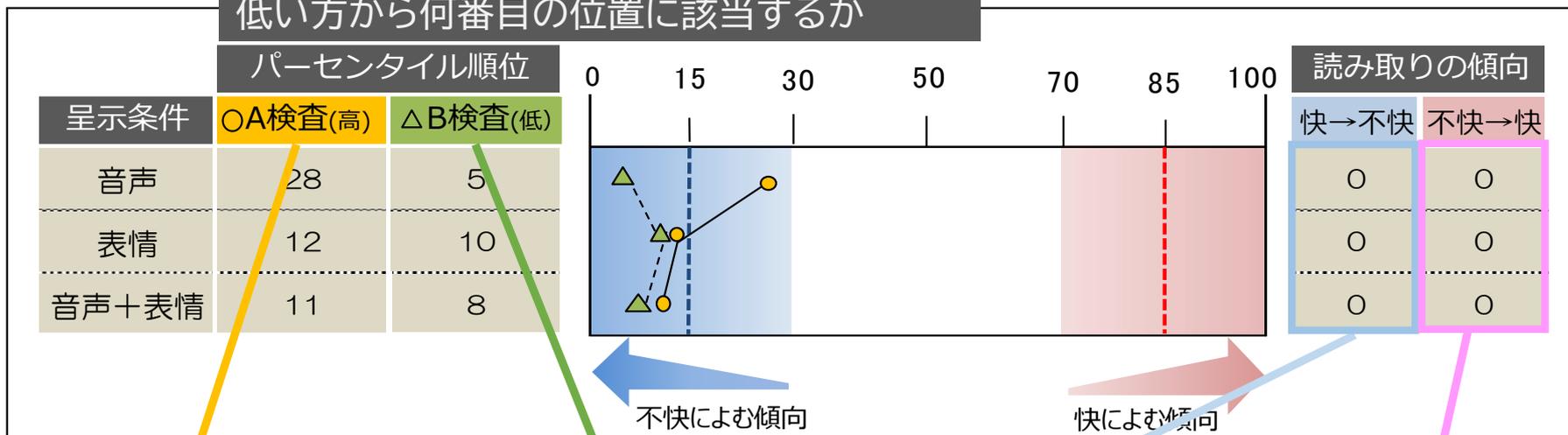


1 2 3 4 5

音声のみ					
表情のみ					
音声+表情					

快-不快版の結果の示し方

被検者が100人いた場合にその人が得点の低い方から何番目の位置に該当するか



B検査より明確に不快感情が表現された刺激で構成

A検査より曖昧に感情が表現された刺激で構成

快感情が表現された刺激に対して不快感情を読み取った数

A検査の不快感情が表現された刺激に対して快感情を読み取った数

曖昧な感情表現から必要以上に快あるいは

不快な感情を読み取っていないかを確認し、対応を検討する。

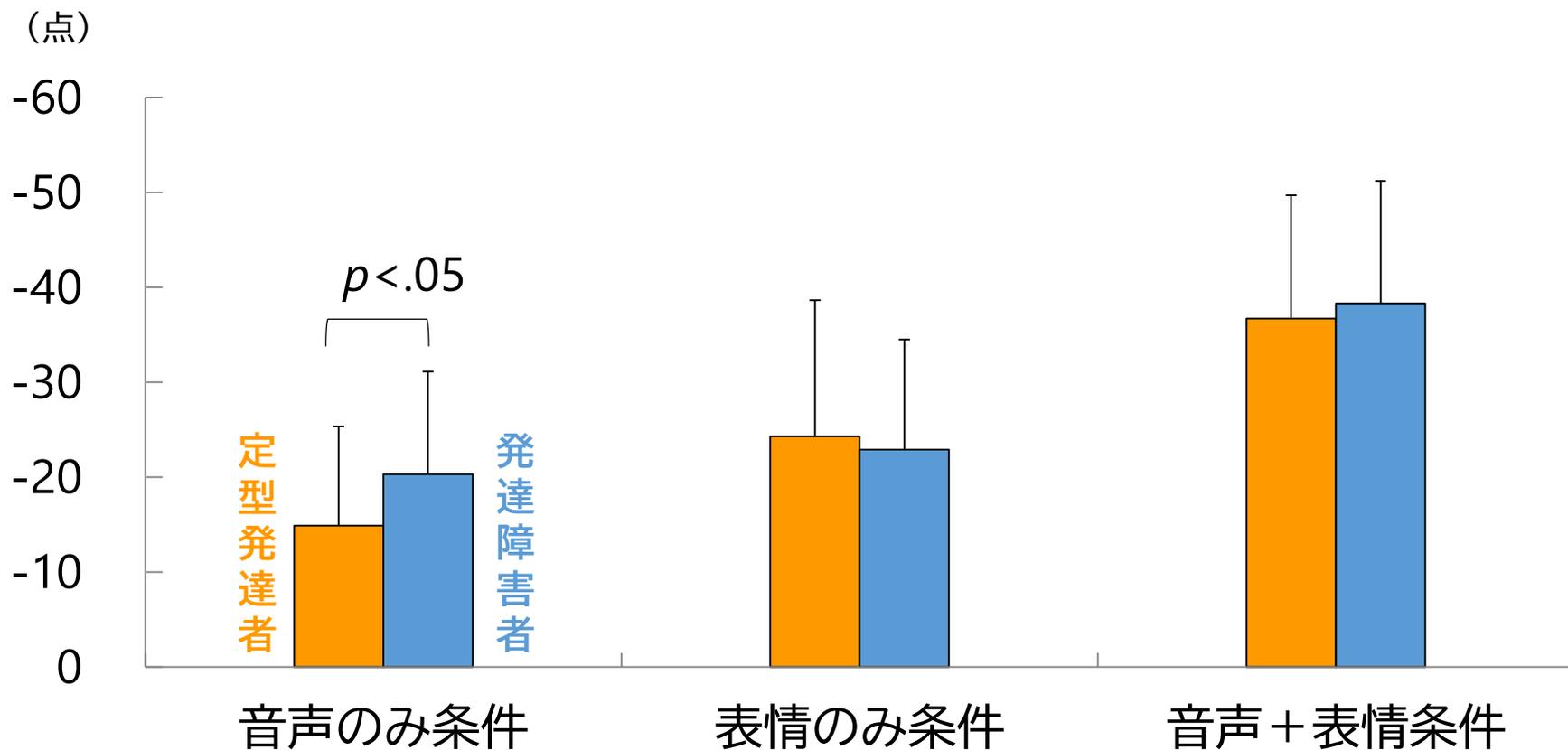
発達障害者 124名 男性:98名 女性:26名

- 知的障害を伴わない発達障害（うち 84 % は 自閉スペクトラム障害）
の医師の診断・専門家による判断を有する
- 18歳～61歳（平均 \pm SD:25.5 \pm 10.2 歳）
- 広域/地域障害者職業センター、障害者職業総合センター職業センター、
外部の協力機関からの紹介で、研究協力への同意が得られた者
- 調査時期: 2013年4月～2016年9月

定型発達者 295名 男性:148名 女性:147名

- 在職者
- 21歳～59歳（平均 \pm SD:39.4 \pm 10.3 歳）
- 調査時期: 2013年4月～2016年9月

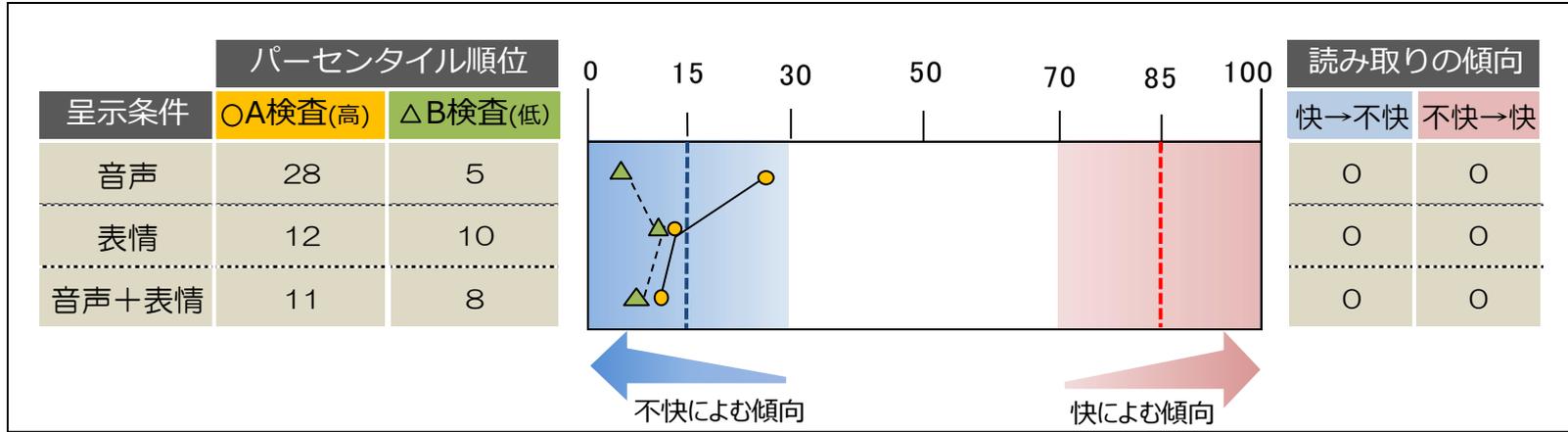
結果の解釈： 過剰に感情を読み取っていないか？



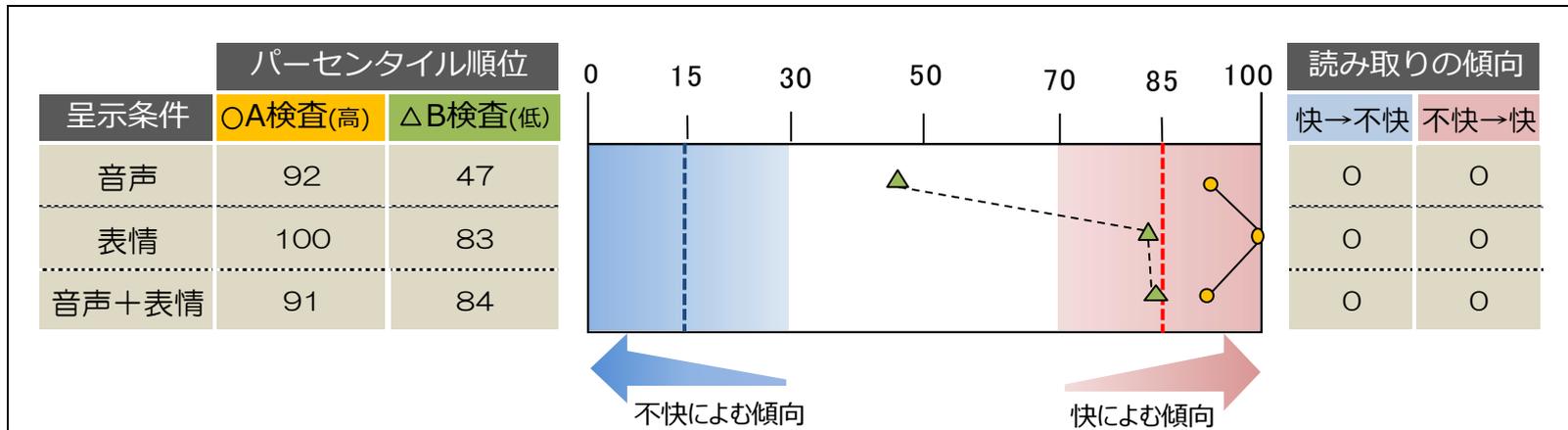
曖昧な感情表現から「感情を過剰に読みとる可能性」を検討する必要がある。

結果の解釈： 過剰に感情を読み取っていないか？

☑ 他者の感情を**深刻に**受け取りすぎていないか？



☑ 他者の感情を**楽観的に**受け取りすぎていないか？



検査結果のフィードバックの流れ（例）

4感情版

導入

1 4感情版の概要を説明する

2 検査の感想を聴き取る(呈示条件別の成績の予測や感情・人物の種類別の感情の読み取りやすさの違い等)

フィードバック

3 4感情版の結果(正答率、感情間の混同、コミュニケーションタイプ)を報告する

4 対策(表情識別訓練、配慮依頼等)を一緒に検討する

快不快版

導入

1 快-不快版の概要を説明する

2 検査の感想を聴き取る(呈示条件・人物の種類別の感情の読み取りやすさの違い等)

フィードバック

3 快-不快版の結果(パーセンタイル順位、読み取りの傾向)を報告する

4 対策(配慮依頼等)を一緒に検討する

フィードバックのモデル事例



20代男性、診断名は発達障害（診断年齢:23歳）

子どもを対象とした支援機関に就職。
同僚や児童、保護者への対応が攻撃的であったり、
パニックやヘッドバンギングが生じるなど対人面・
行動面での問題が顕著になり精神科を受診。

4感情版の結果 → コミュニケーションタイプ「高受信タイプ」

正答率: 88%

91%

94%

音声		さんの回答			
		うれしい	かなしい	おこっている	いやだなあ
表示された感情	うれしい	6	0	0	0
	かなしい	0	8	0	0
	おこっている	0	0	7	1
	いやだなあ	0	1	0	7
	合計	6	9	7	8

表情		さんの回答			
		うれしい	かなしい	おこっている	いやだなあ
表示された感情	うれしい	8	0	0	0
	かなしい	0	5	0	3
	おこっている	0	0	8	0
	いやだなあ	0	0	0	8
	合計	8	5	8	11

音声+表情		さんの回答			
		うれしい	かなしい	おこっている	いやだなあ
表示された感情	うれしい	8	0	0	0
	かなしい	0	8	0	0
	おこっている	0	0	7	1
	いやだなあ	0	0	1	7
	合計	8	8	8	8

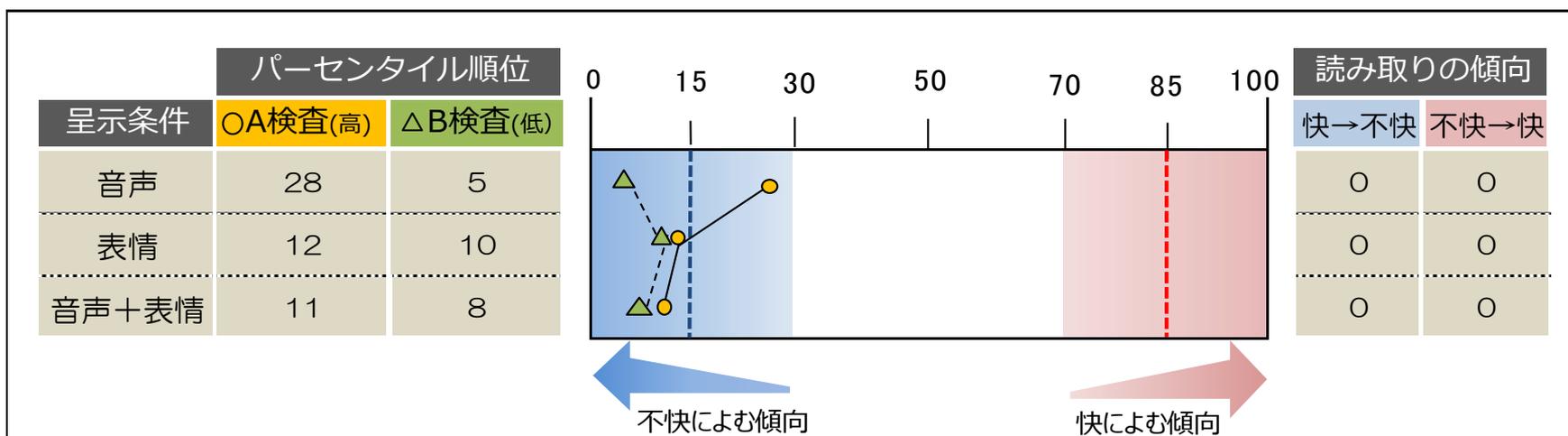
フィードバックのモデル事例



20代男性、診断名は発達障害（診断年齢:23歳）

子どもを対象とした支援機関に就職。
同僚や児童、保護者への対応が攻撃的であったり、
パニックやヘッドバンギングが生じるなど対人面・
行動面での問題が顕著になり精神科を受診。

快-不快版の結果 → 他者の感情を深刻に受け取る傾向あり



フィードバックのモデル事例



4感情版の正答率は60~70%くらい。

自己評価と実際の検査結果に乖離



(快-不快版での感情の深刻な読み取りについて)
予想外ではなかった。

相手が怒っていたらどう対応しますか？



「すみません」とひたすら言い続けます。

怒っている原因を指摘されなかったら？



「すみません、何かありましたか」と聞いてみます。

適応行動につながる気付き



フィードバックのモデル事例

快-不快版の結果をみると、〇〇さんは他人の感情を深刻に受け止めすぎているかしれませんね。

不快な感情を読み取ったときに、相手に言葉で確認すると、案外、相手は何とも思っていないことが分かって、〇〇さんも楽になるかもしれませんよ。



ストレス対処の提案

ストレス管理の支援ツール 情報共有シート

障害のある人が自分の状況を見える化し、
その情報を関係者と共有することで、
障害のある人と関係者のコミュニケーションを円滑化し、
適切なセルフケア・ラインケア・専門的なケアにつなげることで
安定した職業生活の継続を支える



ストレス管理の支援ツール 情報共有シート

例1 全ての項目を設定した場合（A4用紙1枚で1週間分）

日にち	生活面		心身の状況		対処・工夫		仕事（活動）上の目標			困りごと 相談ごと	仕事内容 （日中活動）	特記事項 （本人のコメント）	情報を共有した 関係者からのコメント
	上段 就寝時間	下段 起床時間	食事	服薬	体調	意欲	ストレス レベル	ゆっ っくり 入る お風 呂	分 か ら な い こ と				
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
1週間の 特記事項													

食事 ⇒ した場合：○ 抜けた場合：レ
服薬 ⇒ した場合：○ 忘れた場合：レ

心身の状況 ⇒ よい：○ 悪い：レ
（非常に良好：5～非常に不良：1）
対処・工夫 ⇒ 実施した：○ 実施しなかった：レ
（非常に良くできた：5～全くできなかった：1）

仕事（活動）上の目標 ⇒ 達成できた：○ 達成できなかった：レ
（非常に良くできた：5～全くできなかった：1）

仕事（活動）上の目標 ⇒ 達成できた：○ 達成できなかった：レ
（非常に良くできた：5～全くできなかった：1）
困りごと・相談ごと ⇒ ない：○ ある：レ

生活面で重要なものを選択する。

体調を崩さないための対処・工夫を記載する。

就職前は就職に向けた目標や生活上の目標を記載する。

企業・支援機関・医療機関・家族などが必要に応じて記載する。

日にち	生活面		心身の状況		対処・工夫		仕事（活動）上の目標			仕事内容 （日中活動）	特記事項 （本人のコメント）	情報を共有した 関係者からのコメント	
	上段 就寝時間	食事	服薬	体調	意欲	ストレッチ	ゆっくりに入りお風呂	分からは質を問うこと	チエスがくすいるか				相 談 ご と
	下段 起床時間												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
	AM												
	PM												
1週間の 特記事項													

本人が意識しやすいもの・意識すべきことを選択して項目に入れる。

基本的に支援機関内でのツール利用開始時は設定する。
職場実習時や就職時にこの項目を設定するかどうかは十分検討する。

休日は日中したこと、就職前は日中活動を記載する。

必要に応じて記載する。

チェックの仕方（数字や“レ”等）は「本人がチェックしやすい」「関係者が見やすい」ものを選択する。Excelを使ってグラフ化したい場合は、5段階評価等の「数値」で評価してもらう方法もある。

食事 ⇒ した場合：○ 抜けた場合：レ
服薬 ⇒ した場合：○ 忘れた場合：レ

心身の状況 ⇒ よい：○ 悪い：レ
(非常に良好：5～非常に不良：1)

仕事（活動）上の目標 ⇒ 達成できた：○ 達成できなかった：レ
(非常に良くできた：5～全くできなかった：1)

情報共有に基づくストレス管理

日にち	生活面						心身の状況		対処・工夫		困りごと	相談ごと	確認者のサイン
	左段 就寝時間	食事		服薬		体調	意欲	ストレッチ	水分補給				
4月1日	22:00 - 6:00	○	○	○	○	○	○	4	4	2	3	○	レ
4月2日	22:30 - 6:10	○	○	○	○	○	○	4	3	2	3	○	レ
4月3日	22:00 - 5:50	○	○	○	○	○	○	3	3	2	3	○	レ
4月4日	23:00 - 6:00	レ	○	○	レ	○	○	2	1	2	2	レ	レ
4月5日	22:00 - 6:20	○	○	○	○	○	○	3	2	4	3	○	レ
4月6日	23:00 - 7:00	レ	○	○	○	○	○	3	3	1	2	○	レ
4月7日	22:30 - 7:15	レ	○	○	○	○	○	3	3	1	2	○	レ

食事・服薬 ⇒ した場合：○ 抜けた（忘れた）場合：レ
 対処・工夫 ⇒ 非常に良くできた：5～全くできなかった：1
 心身の状況 ⇒ 非常に良好：5～非常に不良：1
 相談ごと・困りごと ⇒ ない：○ ある：レ

生活面				心身の状況			
食事・服薬	心身の状況	生活面	心身の状況	服薬	体調	意欲	その他
4月3日	22:00 - 5:50	○ ○	○ ○	レ	○ ○	2	1
4月7日	22:30 - 7:15	レ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	3	3

課長、昨日、なかなか寝付けず、倦怠感があります。このままでは仕事に影響が出てしまうので15分ほど休憩時間を頂けないでしょうか。

体調不良などを早めに伝えてくれるので、早い段階で手を打てるようになった。

わかりました。休憩時間でどのように対処しますか。

洗面所で顔を洗ってストレッチをしてきます。

わかりました。戻ったら、状態を報告してくださいね。

食事・服薬 ⇒ した場合：○ 抜けた（忘れた）場合：レ
 心身の状況 ⇒ 非常に良好：5～非常に不良：1
 対処・工夫 ⇒ 非常に良くできた：5～全くできなかった：1
 相談ごと・困りごと ⇒ ない：○ ある：レ

検査結果の読み取りに関する演習



他人にはあまり関心がなく、自分から他者と積極的に関わることはほとんどない。
どうしても疑問を解決したいことがあれば、人に尋ねるのではなく、本などで調べて切り抜けてきた。

20代男性、診断名はアスペルガー症候群(診断年齢:21歳)

アルバイト経験は多数あるが、すべて期間満了で退職。
ハローワークを介しての職場実習や就労移行支援を利用して就職・職場定着を目指している。

4感情版の結果

正答率: 66%

		さんの回答			
		うれしい	かなしい	おこっている	いやだなあ
音声	うれしい	4	0	0	0
	かなしい	0	5	0	2
	おこっている	0	0	8	0
	いやだなあ	0	1	3	4
	合計	4	6	11	6

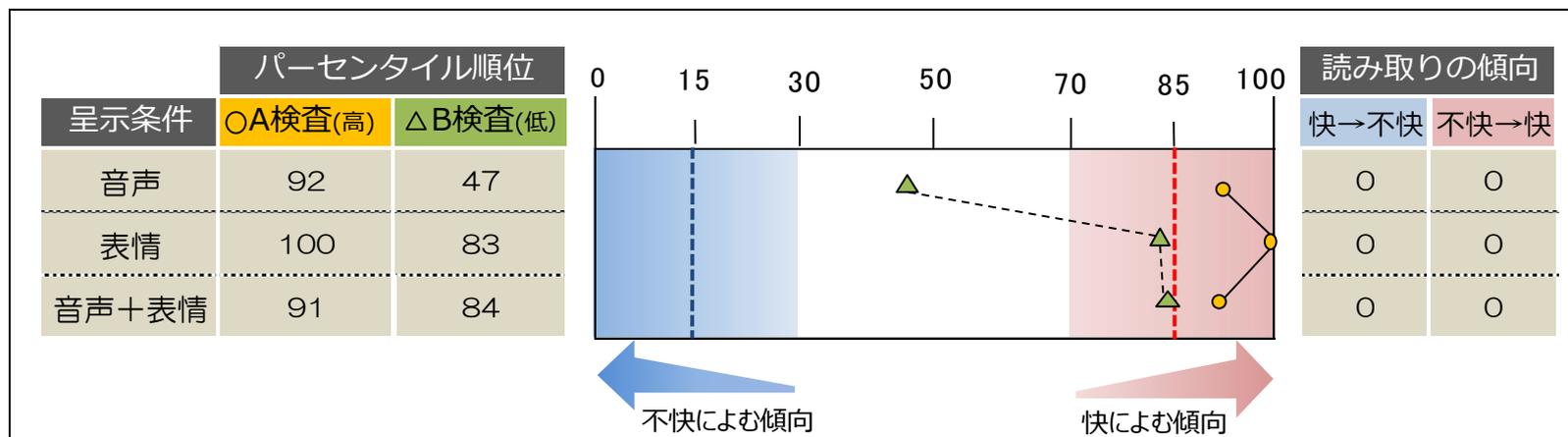
56%

		さんの回答			
		うれしい	かなしい	おこっている	いやだなあ
表情	うれしい	8	0	0	0
	かなしい	0	1	0	2
	おこっている	0	0	4	0
	いやだなあ	0	0	3	5
	合計	8	1	7	7

53%

		さんの回答			
		うれしい	かなしい	おこっている	いやだなあ
音声+表情	うれしい	4	0	0	0
	かなしい	0	1	0	7
	おこっている	0	0	8	0
	いやだなあ	0	0	4	4
	合計	4	1	12	11

快-不快版の結果



4感情版の感想



音声条件も表情条件もそれぞれ難しかった。

音声+表情条件はそれらの条件よりは「読めない」という感じが減ったと思う。

(無回答の理由)感情がどうなっている、というようなものではないので、どの選択肢にも該当しないと思った。

快-不快版の感想



快-不快という見方であれば、どちらともつかないと感じたものが多かった。

4感情版の結果から読み取れること



快-不快版の結果から読み取れること



表情識別訓練

- 障害者職業総合センター調査研究報告書No.39 『知的障害者の非言語的コミュニケーション・スキルに関する研究 -F&T感情識別検査及び表情識別訓練プログラムの開発-』において表情識別訓練プログラムが開発されている。
- 表情写真を用いて、表情を識別するための表情の特徴を学習してもらうもの。例えば、表情を識別する際に「まめはくし(豆博士)」（眉、目、鼻、口、しわ）というプロンプトを想起し、表情を見分けるのに有効な顔の箇所に自らの注意を誘導する、という方法で感情認知の精度を向上させる。

感情認知訓練に関する留意点

- Berggrenら(2018)は自閉症スペクトラム障害のある児童又は青年を対象とした感情認知機能の訓練に関する研究をレビュー。感情認知に特化した訓練が日常生活でのコミュニケーションの改善につながった証拠はほとんどない一方で、感情認知の学習と社会技能訓練を組み合わせた訓練では社会的技能の向上を示す証拠が認められたことを報告。

感情認知以外の側面から課題をアセスメントしたり、
発信の適切さを向上させる取組も重要！

新版F&T感情識別検査の補助ツール

感情に関する理解を把握する

場面	喜び	悲しみ	怒り	嫌悪	驚き	恐怖	軽蔑
1. 長い間、会っていなかった知人や友人と偶然出会ったとき							
2. 他人に嫌がらせをしている人を見かけたとき							
3. 試験に合格したとき							
4. 苦手な生物（クモ・ヘビ・ゴキブリなど）を近くで見たとき							
5. 仲の良い知人や友人が遠くに引っ越すことになったとき							
6. いい加減な態度や無責任な態度をとる人を見たとき							

新版F&T感情識別検査の補助ツール

表情の注目箇所を把握する

	喜び	悲しみ	怒り	嫌悪	驚き	恐怖	軽蔑
① 							
問1. 左の写真の表情が表す感情を1つ選んで○							
問2. 問1で回答した感情が強く表れている顔の部分に○							

新版F&T感情識別検査の補助ツール

どのような対人ストレスを感じやすいかを把握する

場面	まったく感じない				非常に感じる	そのような経験がない
1. 同じことを何度も言わなければならない	0	1	2	3	4	
2. 会議や話し合いなど、グループでの会話中に 「何をしゃべったらいいのか」わからなくなる	0	1	2	3	4	
3. 人が「あなたのことを嫌っているか」気になる	0	1	2	3	4	
4. 嫌いな人と会話する	0	1	2	3	4	
5. 忙しそうにしている人に、あなたの仕事の手伝いを頼む	0	1	2	3	4	

まとめ

—新版F&T感情識別検査の実施により期待できること—

非言語コミュニケーションに関する特性の理解

呈示条件、感情・話者の種類による感情の読み取りの正確性の違いを検討できるため、
詳細な特性の把握が可能



特性の理解に基づく対応方法の検討

特性の理解に基づき、
正確性の高い感情認知の方法の検討、
表情識別訓練やストレス管理手法の導入、
依頼する配慮事項の検討など、
個々の特性に応じた対応方法の検討が可能

